

関西支部 LMAG 第 10 回現地技術講演会記録

2016/12/07

講演会の概要

http://www.ieee-jp.org/section/kansai/activity/meeting_095.html を参照。

日時

2016 年 11 月 30 日(水) 13:30-17:00

場所

音羽電機工業株式会社営業本部(雷テクノロジーセンター)

〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江 5 丁目 6-20

Tel. 06-6429-9591 Fax .06-6422-8407

<http://www.otowadenki.co.jp/corp/company/complb/compl1b/>

JR 尼崎駅下車西へ徒歩 5 分

参加者

12 名 (うち IEEE 会員・LMAG 8 名(事務局 2 名含む)/LMAG 以外 1 名、非会員 3 名)
講演者、音羽電機工業関係者を含まず。

講演者

大阪大学名誉教授 河崎 善一郎 先生

講演概要

雷放電を電波で観る

Lightning Imager by VHF Interferometer (LIVE)

雷放電路を、電波干渉計で可視化しようと思いついて、おおよそ四半世紀を経過した。
光学観測による雷放電路の観測は、高感度カメラや高速度カメラの進歩もあって、目覚ましい成果を上げている。半面最も研究者たちが知りたいと考える雷雲内の様子は、光学観測では原理的に不可能であるため、全く知られていない。電波干渉計は、光学観測の補完という意味からも雷雲内の様相解明に有効であるけれど、光速に限りなく近い速度で進展する現象を、完全に捉えることは容易でない。それが四半世紀も「電波干渉計」に関わってきた理由であり、大阪大学を定年退職した今も、開発と観測に関わっているというのが実情である。

今回の講演では、これまでの苦勞話に加え最近の成果が併せて披露された。

施設見学と感想

同業に近いと判断された河崎先生および日新電機参加者殿には、施設見学を遠慮いただいた。

音羽電機工業の有する大型の雷関連実験設備、住宅型実験設備、高電圧発生装置、大電流湯発生装置を、実際の模擬雷発生実験も交えて迫力たっぷりに説明いただいた。雷は日常生活上身近なアイテムであり、参加者から質問が続出した。事務局としては、見学時間を気にしながらの見学であった。

写真

	
講演される河崎先生	講演会の様子
	
玄関ロビーでの集合写真	雷ミュージアムの展示物と雷写真コンテスト入賞作品

懇親会

JR 尼崎駅前にて、河崎先生を交えて7名で懇親の場を持った。互いの人脈の接点を探ったり、LMAG 活動の進め方等について、自由な意見を出し合った。

以上